

## III-3 ふりかえろう・子どもとの接し方

## ワーク1

## 【エピソード①】

優しくてのんびりしている兄の春男（4年生）、活発で元気いっぱいの妹の真由美（3年生）がいます。春男がコンピュータゲームをしています。真由美が「私にもやらせて。」と言ってきました。ちょうどいいところなので春男は「今いいところだからちょっと待ってよ・・・。」と言いましたが、真由美は「ねえ、替わってよう・・・。」と何度も言うので言い争いになりました。そこへ母親がやってきて、

母親「もう、お兄ちゃんだから真由美に替わってあげなさい。」

春男「もうすぐクリアできるのにいー・・・。もうちょっと待ってよー・・・。」

母親「どうせずっとやってたんでしょ。あなたお兄ちゃんでしょ。替わってあげなさい。」

春男「なんで『お兄ちゃんお兄ちゃん』って・・・いつもぼくばかりしかられるんだよー・・・しかたないなあ・・・。」

- ①の  の部分を、母親役と春男役と観察役（1～2名）になって演技してみましょう。

役をして、どんなことを感じましたか？

## 【エピソード②】

母親と春男と真由美の3人で晩ご飯を食べています。

真由美「お母さん、真由美また100点とったんよ。これで5回連続！！」

母親「すごいなあ。やっぱり真由美はよう勉強するなあ。次も頑張るって。」

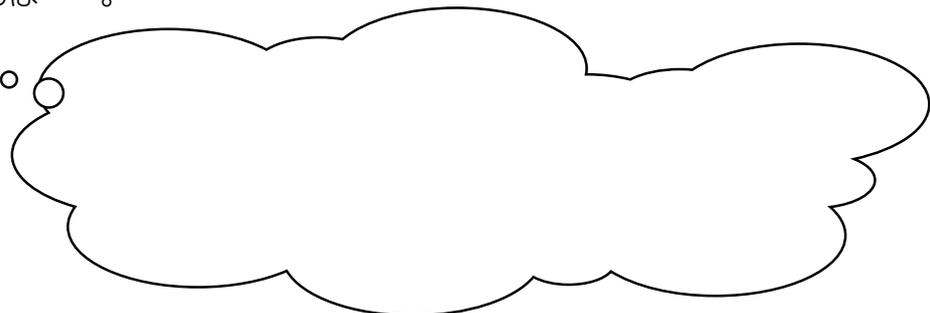
真由美「うん。それから、体育で縄跳びもクラスで一番たくさん跳べたんよ。」

母親「へー、真由美は何でも出来るなあ。やっぱり私に似たのねえ。」

母親「そういえば、誠君（春男の友達）もいつも100点なんだって・・・。」

春男は、うつむきながらご飯を食べています。

この時の春男の気持ちは・・・。



ワーク2 ～子どもの人権を意識した視点から～

● 子育てについての考え方は、まさに様々です。あなたはどのように思いますか？

	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば 思わない	思わない
①子どもの日記や手紙を勝手に読んでよい。				
②子どもの友達づきあいにはいつも気を配る。				
③宿題をするまで晩ご飯を食べさせない。				
④「男は男らしく」「女は女らしく」育てたい。				
⑤携帯電話のアクセスを制限してもよい。				
⑥危ないと思うことは何もさせない。				
⑦ほめることが大切なので叱ることはない。				
⑧親が子どもの服装や髪型を決めてもよい。				
⑨いじめは、いじめられる方にも原因がある。				
⑩しつけをするためには、たたくこともある。				

参考：人権教育指導資料Ⅲワークショップ⑩「あなたの意見 子どもの意見」

資料1

感情にまかせて叱ることとしつけとはちがう

子どもの心や身体を傷付けるような叱り方は、教育的な効果がないばかりでなく、児童虐待につながる可能性があります。  
※児童虐待に気付いたら、通報の義務があります。



資料2

児童虐待以外にも、子どもの人権に関わることにはこんなものがあります。

例：いじめ、家庭内のDVを見(させ)る、ネット・ケータイによるいじめや犯罪、親の生活時間に子どもを合わせる、習い事の強制 など

ふりかえり

● これから、気を付けようと思ったことを一つ書きましょう。